

沖縄から平和を考える

沖縄の基地問題は私たちの問題

2025年
5月27日(火)～7月12日(土)

開館時間 ● 11:00～16:00
(最終日は15:00まで)

休館日 ● 日曜日・月曜日

入館料 ● 大人300円 小中高生100円

会場 ● 3階展示室 2階プチギャラリー

「台湾有事」という言葉が盛んに取り沙汰されている中、2022年12月に閣議決定した安保3文書には、敵基地攻撃能力(反撃能力)の保有が明記されました。有事を想定した大規模な日米共同統合演習も毎年実施されています。沖縄にとどまらず、九州、本州へも米軍基地・自衛隊本土基地が強化され、拡大していています。

政府の防衛力整備計画は約43兆円規模と大幅に拡大され、スタンド・オフ防衛(離れた位置から防御する)能力、統合防空ミサイル、無人機には日本企業が開発を行っています。

沖縄離島住民の島外避難の図上訓練まで行い、これは沖縄住民に沖縄戦前夜の思い起こさせるものでした。

準常設展パネルで沖縄の歴史を振り返り、現状を考えていただけたらと思います



● 日米共同統合演習(キーンソード25)

写真出典(3枚とも): 米国防務省画像配信サイト dvids



▲自衛隊と米軍による滑走路被害復旧訓練
—自衛隊那覇基地 2024年10月27日



▲沖縄出砂島射撃訓練場に向かう自衛隊(中央)と米軍(右)
—米軍普天間飛行場 2024年10月28日



▲自衛隊(右)と米軍(左)による米軍 HIMARS 実射訓練—自衛隊矢野別演習場 2024年10月23日

関連イベント 沖縄慰霊の日 トーク&映画会

《入館料で参加できます》

● 日時: 6月21日(土) 13:30～16:30(開場13:00)

● トーク: 阪井芳貴さん(名古屋市立大学名誉教授)
「沖縄民衆のチカラ」

● 映画: サンマデモクラシー

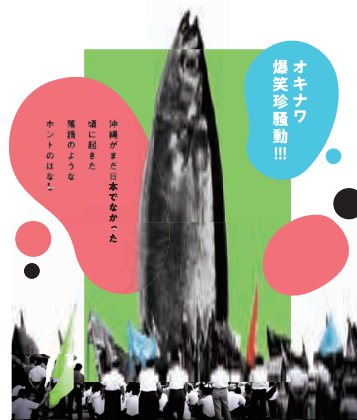
【解説】米軍の占領下にあった沖縄で、ひとりのおばあが起こしたサンマの関税に関する裁判を入口に、自治権をかけて統治者アメリカに挑んだ沖縄の人々のドキュメンタリー。市民と政府の民主主義を巡る闘いに迫ったのは沖縄テレビ。監督は『ちむぐりさ菜の花の沖縄日記』のプロデューサー、山里孫存。ナビゲーターは、うな～断家志いさー、ナレーションを川平慈英が務める。©沖縄テレビ放送、【2021/日本/DCP/カラー/99分】

※上映会終了後、沖縄展を観覧できます。(16:30まで)

定員50名、要予約 電話052-602-4222

サンマデモクラシー

SANMA DEMOCRACY



[博物館相当施設] 戦争と平和の資料館 ピースあいち

〒465-0091 名古屋市名東区よもぎ台2-820
TEL&FAX 052-602-4222

市バス・地下鉄でのおでかけが便利でお得です。
ドニチエコきっぷ・一日乗車券・24時間券を
利用してご来館の方は、入館料割引!

【大人】300円→250円 【小中高生】100円→80円

※「ドニチエコきっぷ」「一日乗車券」「24時間券」の利用範囲は、交通局ウェブサイトをご覧ください。



ご利用開始後の有効期限内のドニチエコきっぷ等の一日乗車券・24時間券を提示するだけで、名古屋市内の施設・飲食店等で割引等の特典が受けられます!

※詳細は地下鉄駅で配布している特典ガイドブック「なごや得ナビ」をご覧ください。(管理～6/16)

3階展示室

●沖縄準常設展より

Ⅱ 沖縄戦前夜

3 「10・10空襲」 那覇市街地の90%が焼失

1944（昭和19）年10月10日朝、南西諸島の海は米軍の艦で埋め尽くされ、沖縄本島の那覇市を中心に米軍機の攻撃が繰り返された。はじめは飛行場や高射砲陣地など軍用施設が狙われたが、昼過ぎからは市街地を含む無差別爆撃となりました。午後4時過ぎまで5波にわたり、総計約1400機に及ぶ米軍機の猛烈な空襲を受け、沖縄は全体で死者約500人、家屋の全壊・全焼約1万1500戸の被害を受けました。



10・10空襲
那覇市街地の焼失（那覇市史資料館提供）

10・10空襲後の海上空襲（那覇市史資料館提供）

Ⅲ 沖縄戦「鉄の暴風」

5 住民の動員 女子学徒一ひめゆり学徒隊など

第32軍は女子学徒を看護要員として陸軍病院や野戦病院などに送ることに決めた。県内10校から約450人を動員し、9つの学徒隊をつくり出した。動員された女子学徒の犠牲者は188人に及んだ。



とりわけ犠牲者の多かった連隊「ひめゆり学徒隊」は、1945年3月23日、女子生徒222人と引率教員18人が沖縄陸軍病院に動員されました。病院に近い。爆撃の嵐のようになり、4月25日にも襲撃を受ける。むかしは土間に二階ベドが備え付けられただけの人工でできた。けがをした兵士の看護や手術の手伝いのほか、死体の埋葬、食料、水の供給、便・尿の処理などもしました。

女子学徒の動員数・犠牲者数

連隊名	動員数	犠牲者数
第1連隊（那覇市立第一女子高等学校）	100人	10人
第2連隊（那覇市立第二女子高等学校）	100人	10人
第3連隊（那覇市立第三女子高等学校）	100人	10人
第4連隊（那覇市立第四女子高等学校）	100人	10人
第5連隊（那覇市立第五女子高等学校）	100人	10人
第6連隊（那覇市立第六女子高等学校）	100人	10人
第7連隊（那覇市立第七女子高等学校）	100人	10人
第8連隊（那覇市立第八女子高等学校）	100人	10人
第9連隊（那覇市立第九女子高等学校）	100人	10人
合計	900人	90人

Ⅳ 沖縄戦の継承

1 沖縄戦の死者の追悼碑

沖縄には南部を中心に難民を食め、沖縄戦での死に耐える数多くの慰霊碑があります。1946（昭和21）年2月建立の「南の風」はその最も古いものの一つです。最後の戦場となった糸満市米軍海岸にあり、3万5千余の遺骨が祀られています。



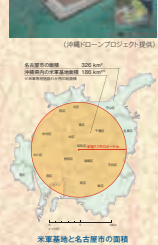
平和の礎（愛知県立平和記念館）

平和の礎（愛知県立平和記念館）

Ⅴ 沖縄戦後

9 沖縄の米軍基地

沖縄県には日本に占める米軍専用施設面積の70.6%が集中しています。沖縄県の面積が日本全体の0.6%しかないと考えると、その集中ぶりが分かります。沖縄県には陸軍、海軍、空軍、海兵隊の四軍が揃っており、基地が31施設18,600haのほかに、27の米軍基地が点在しています。そのうち、20の定置54,830ha、20の定置95,416haも訓練区域として米軍管轄下に置かれています。沖縄県は「世界一危険な県」とも呼ばれる。その危険な県とされるのは、その代わりの施設を米軍市営キャンプ・ジョージアに引き継ぐため、基地をめぐって争いが絶えず、基地をめぐる状況が改善されないまま、しかも恒久的にあり続ける。いまだに米軍基地の建設には沖縄県民が反対しています。その上、辺野古、大浦湾周辺の海域は、ジュゴンをはじめとする絶滅危惧種を含む5,800種以上の生物が確認され、建設によって生物が消失する可能性が指摘されています。



3階展示室 視聴コーナー

「基地のある日常」上映



戦闘機やオスプレイなどが飛び交い、日米共同軍事演習が実戦さながらに繰り広げられている「生活圏に米軍基地・自衛隊基地がある日常」を映像でお伝えします。

2階展示室 映像コーナー

●沖縄戦を伝える



語り継ぎ
「父の沖縄戦」
中村桂子さん



語り継ぎ
「比嘉俊太郎さんの沖縄戦体験」
服部忠一朗さん



映像紙芝居
「私の家族～中村キクさんの体験～」
作：沖縄県南風原町の子どもたち
絵：沖縄県立芸術大学の学生
朗読：ピースあいちボランティア

2階 プチギャラリー（パネル展示）

●沖縄戦を語り継ぐ～市町村の取り組み（その2 沖縄北部地域）

恩納村 金武町 宜野座村 名護市 本部町 伊江村 今帰仁村 大宜味村 東村 国頭村 うるま市



軍民問わず多くの犠牲を出した沖縄戦について、体験者の記憶や証言だけでなく、それぞれの市町村で工夫をして継承・発信しています。戦争の記憶の受け継ぎ方にはこんな形もあるのかと、新たな発見やきっかけにできたらと思います。

夏の戦争体験を語るシリーズ ピースあいち1階 交流のひろば

8月1日（金）～8月15日（金）（日曜・月曜のぞく11回）14:00～15:00
ピースあいち語り手の会会員、語り継ぎボランティアによるお話。詳細はピースあいちHP、ツイッターでご確認ください。

ピースあいちの常設展

常設展示が英語でも読めるようになりました。

- 第1展示 愛知県下の空襲 愛知県下にも空襲があった。多くの家が焼かれ、多くの人が死んだ。
- 第2展示 戦争の全体像・15年戦争 戦争はなぜ起きたか。どういう経過をたどり、結果を迎えたか。
- 第3展示 戦時下の暮らし お父さんやお兄さんが兵隊に征った。食べ物や着るものがなくなった。自由にもが言えなくなった。
- 第4展示 現代の戦争と平和 今も戦争はなくなっていない。だが、平和を求めて多くの人ががんばっている。
- 「命の壁」戦争は命の破壊。どうか目をそらさないでください。 ● 準常設展示 戦争と動物たち



[博物館相当施設] 戦争と平和の資料館

ピースあいち

- 開館時間 11:00～16:00
 - 休館日 日曜、月曜、年末年始ほか
 - 入館料 大人300円 小中高生100円
- 〒465-0091名古屋市中東区よもぎ台2-820
TEL&FAX 052-602-4222
<https://peace-aichi.com/>
- ▶ 地下鉄東山線「一社」①出口から北へ徒歩12分
 - ▶ 地下鉄東山線「上社」から市バス上社11系統「じあみ」下車、西へ徒歩3分
 - ▶ 駐車場（有料（300円）2台（障がい者用無料1台）

